



# 吉美小だより

綾部市立吉美小学校  
平成 30 年 10 月 19 日号

<学校教育目標>  
<教育スローガン>

自立と貢献~夢をもち 仲間とともに 未来を切り拓く 子どもの育成~  
「笑顔・元気・夢いっぱい そして 思いやり」

## 「区切りの時」できたこととできなかったことを再整理

### そこから新しいスタートを！



10月の後半になると、朝夕の肌寒さを感じ、季節の移り変わりを実感します。登校途中に子どもたちが手にしているチカラシバやエノコログサからも秋を感じるようになってきました。

今年度も後半に入り、子どもたちの活動も前期と後期の区切りを迎えました。9月26日には前期の代表委員が活動の報告として、各学級からあがってきたまとめを発表しました。1年生からは「ともだちにやさしくできた。」3年生からは「学級遊びが楽しくできた」6年生からは「友達が困っていたら声かけができた。」など、スローガン「自分も友達も大切にできる吉美小学校にしよう」に向かってがんばれたことが伺えました。



10月18日には後期の活動の始まりとして児童総会を行いました。ここでは、前期委員会の各委員長が活動についての報告をし、その後、後期代表委員となった会長・副会長・議長・書記の4人の児童が、「立候補した理由」や「どんな吉美小学校にしていきたいか。」などについて演説をしました。全校の児童が大きな拍手をして承認となり、その後引き継ぎ式が行われました。引き継ぎ式を終えると、後期の各委員長が、活動の目標や計画を発表しました。

この児童総会までには、「委員会で何を発表するか」の打合せや「めあての決定」、そして「リハーサル」と見えないところで様々な準備がありました。これも「貢献」の姿です。これから始まる後期の活動が充実することを期待しています。

保護者の皆様にも子どもたちの活動やがんばりをご理解いただき、励ましていただければと思います。地域の皆様にも、引き続き本校教育にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



<校地に季節外れの桜が咲きました>

校長 亀井 貴子

### <校風・学校の風土づくり>

### 凡事徹底 あたいまえのことをあたいまえに

雨の日の朝、昇降口を見るとほぼ全ての傘がきれいに巻かれていました。夏休み前、児童に「お家でもくつ傘揃えを実行しましょう」と伝え、学校だよりでもその旨をお伝えしましたが、その後もずっと意識して子どもたちが実践しているのが分かります。

ある保護者の方が「家でも傘を巻くようになった」と話してくださいました。自然な形で身に付いていることが嬉しく思いました。

同じことが挨拶についても言えます。前期のまとめに6年生が「ぼうしをとって大きな声であいさつできた。」と発表していました。挨拶の大切さを分かっているからこそそのまとめだと思って聞いていました。

「小さな繰り返しが習慣付き、その人の人格になる」。教育は人づくりです。

一人一人の大切な未来を明るいものに、そして、どこにいても吉美を大切に思う人になってほしいものです。そんな人づくりのできる学校風土を目指しています。

